第○学年　家庭科学習指導案

学校名，学年・学級

指導者

**１　題材名**

　　　　　・児童が興味をもちやすく，わくわくする題材名にする。

**２　題材設定の理由**

1. **題材について**

・今後の社会を担う子供たちに必要な能力と家庭科の学習内容との関わり

　・学習指導要領の位置付けを明確にする。

例　内容「Ｃ消費生活・環境」の（１）「物や金銭の使い方と買物」ア（ア）

・題材の中で育む資質・能力

　　　　　・「生活の営みに係る見方・考え方」で重視する視点

　　　　　・中学校学習指導要領　技術・家庭（家庭分野）とのつながり

1. **児童の実態について**

　　・アンケート結果からみる児童の実態や問題点

　　・これまでの学習を通しての児童の様子（成果と課題など）

1. **指導について**

　　　　　・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

・児童が学ぶ意義を自覚するために，題材の始めに何のために学習するのか，その目的をどのように明確にするかについて記述

・本時の学習における指導上の工夫

（教材教具の工夫，ICTの活用，学びの過程における困難さに対する指導の工夫など）

1. **研究主題または研究副主題との関わり**

・研究主題又は副主題との関連

**３　題材の目標**・評価の観点を踏まえ，児童の行動目標で記述

（～しようとしている。工夫している。～できる。～理解している。）

○　消費者としての自覚を持ち，・・・・・・している。　　（家庭生活への関心・意欲・態度）

○　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（生活を創意工夫する能力）

**４　題材の評価規準**・移行期間中における学習評価は，現行学習指導要領の評価規準に基づく。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 家庭生活への  関心・意欲・態度 | 生活を  創意工夫する能力 | 生活の技能 | 家庭生活についての  知識・理解 |
|  |  |  |  |

**５　指導と評価の計画（全○時間）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 時　間 | **小 題 材 名**  ○　ね　ら　い  ・主な学習活動 | ・評価規準　（評価方法） | | | |
| 家庭生活への  関心・意欲・態度 | 生活を  創意工夫する能力 | 生活の技能 | 家庭生活についての知識・理解 |
| とらえる | １ | **１ 毎日の食事を見直そう**  ○毎日の食事は多くの食品を組み合わせて…分かる。  ・給食や毎日の食事を振り返り… | ・毎日の食事や給食を振り返り食事の役割や大切さについて考えようとしている。  （ワークシート） |  |  |  |
| 見通す | ２  （本時） | 本時の指導を太枠で囲む |  |  |  |  |
| 確かめる  振り返る  生かす | ３ |  |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |  |
| 家庭 | ○献立にしたがって調理をし，家族との食事を楽しむ。 | | | | |
| ６ |  |  |  |  |  |

**６　題材構想図（全○時間）**

　　　　　　　　・児童の思考の流れや変容が分かるように作成する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 児童の思考の流れ | 他教科等  との関連 | 生活の  営みに係る  見方・考え方 |
| 生かす  振り返る  確かめる  見通す  とらえる  **中学校との関連**・・・Ｂ衣食住の生活（1）食事の役割と中学生の栄養の特徴　（2）中学生に必要な栄養を満たす食事　（3）日常食の調理と地域の食文化  **目指す子供の姿**・・・栄養のバランスを考えた1食分の献立の立て方を理解し，材料や目的に応じた調理の技能を身に付け，さらに，環境に配慮した調理や後片付けの視点で考え，食生活をよりよくしようとする子供 | ・食事は主食や汁物，飲み物，おかずを組み合わせて作るんだな。  ・毎日の食事や給食の栄養のバランスを調べてみよう。  ・良い献立にするには栄養のバランスが大切なんだな。  ・家族に夕食の献立を考えるとき，どんなことに気を付けているか聞いてみよう。  1次（1時間）  毎日の食事を見直そう | 題材全体を通した問いを書く  生活の営みに係る見方・考え方の視点を書く  道徳  Ｃ－(15)  家族の幸せを求めて，進んで役に立つことをすること | 「健　康」　　　　　★家族が健康になる一食分の食事を考えよう |

**７　本時の学習**

**(1) 目 標**　　※評価の観点は書かなくてよい。（「～することができる。」等）

**(2) 展 開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間  （分） | 学　習　活　動 | 指導上の留意点 | 評価規準  （評価方法） |
| ５  １０  ２５  ５ | １　本時の学習課題を確認する。  　・  学習課題「～しよう」ではなく，「なぜ～だろう」「～だろうか」 | ○学習課題をどのようにして設定するかを記述する。  ○手立ての目的と方法を具体的に記述する。  ○学習課題に対応した本時の振り返りを児童が主体的に行うことを記述する。 | ・「５指導と評価の計画」との整合性  ・評価の観点は一つ又は二つ |

**(3) 評価及び指導の例**

|  |  |
| --- | --- |
| 「十分満足できる」と判断される状況 | 「おおむね満足できる」状況(Ｂ)を実現した児童が，更に質的な深まりや高まりをもっている姿を具体的に想定して記述する。 |
| 「おおむね満足できる」状況を実現する  ための具体的な指導 | 指導の手立てを具体的に想定して記述する。 |